

社協だより

編集・発行 社会福祉法人 江北町社会福祉協議会
〒849-0501
佐賀県杵島郡江北町大字山口2637番7
TEL 0952 (86) 4317 FAX 0952 (86) 3845
E-Mailアドレス kouhoku-s@kouhoku-syakyō.com



第20回江北町子どもまつりの様子(詳細については、4,5ページをご覧ください)

CONTENTS

- 第20回江北町子どもまつりの様子(写真) 表紙
令和8年熊本地震義援金募集について
- 地域の居場所づくり ②
～各地区で実施されている小地域ふれあいサロンを紹介します～
- 令和8年度 福祉のまちづくり講演会を開催しました。 ③
～江北町ボランティア連絡協議会～
- 第20回江北町子どもまつりを開催しました。 ④～⑤
- 子育て支援グループ「ちょうちょ」と共同で夏休み子どもサロン
を実施しました。 ⑥～⑦
日本赤十字社会費のお礼
- ご寄付お礼 ⑧
社会福祉協議会法人会費の報告（お礼）
生活に困っている方へ食料品の配布を行っています。
～江北町生活応援事業～

令和8年 熊本地震 義援金募集について

令和8年熊本地震で被災された方々を支援するため、江北町社会福祉協議会では義援金の募集を行っています。

皆さまから寄せられた義援金は、共同募金会及び日本赤十字社を通じて熊本県の被災者支援等に活用されます。

●募 金 方 法…募金箱へ直接ご協力いただくか、江北町社会福祉協議会窓口での受付も可能です。

●募金箱設置場所…江北町役場、ネイブル、みんなの公園、江北町社会福祉協議会

●募 集 期 間…令和8年7月31日～令和8年10月30日

【お問い合わせ先】

江北町社会福祉協議会 TEL:0952-86-4317

地域の居場所づくり

～各地区で実施されている小地域ふれあいサロン紹介します～

地域の皆さんが気軽に集い、楽しい時間を過ごせる小地域ふれあいサロンを各地区で開催しています。サロンでは、体操やレクリエーション、季節の行事など、地域ならではの活動が行われており、参加者の皆さんの笑顔があふれる温かい交流の場となっています。

また、子どもたちとのふれあいイベントを実施している地区もあり、世代を超えた交流が生まれることで、地域のつながりがさらに深まっています。

「行くと元気になれる」そんな声が多く寄せられている、安心して過ごせる居場所です。

令和8年度は 町内20地区で活動を実施しています。興味のある方は、ぜひお近くのサロンに足を運んでみてください。

地域の仲間と楽しいひとときを過ごしなが、心も体もいきいきとした時間を過ごしていただけます。

小地域ふれあいサロン 推進事業実施地区一覧

	地区		地区
①	馬場	⑪	下惣
②	上惣	⑫	下分
③	新宿	⑬	観音下
④	岳	⑭	江口・正徳
⑤	大西	⑮	土元
⑥	東区	⑯	宿
⑦	石原	⑰	平山
⑧	東分	⑱	西分
⑨	上区	⑲	八町北
⑩	鹿ノ口	⑳	八町南



令和8年度 江北町福祉のまちづくり講演会を開催しました。

令和8年7月16日(木)、江北町老人福祉センターにて江北町ボランティア連絡協議会総会終了後、「江北町福祉のまちづくり講演会」を開催しました。今年度は佐賀ダイハツ販売株式会社との共催により、健康安全運転講座を実施し、45名の会員の皆さまにご参加いただきました。

江北町ボランティア連絡協議会では、「いつになっても自由に移動でき、活発なボランティア活動を続けられること」を大切にしており、健康を維持しながら安全に長く車の運転を続けていただくことを目的として本講座を企画しました。

講座では、一般財団法人日本自動車連盟佐賀支部(JAF)の協力のもと、クイックアーム体験やクイックキャッチ体験を通して、参加者自身の判断年齢や反応速度を確認しました。普段意識することの少ない運転時の判断力を数値で知ることができ、驚きや気づきの声が多く聞かれました。

また、公益社団法人佐賀県理学療法士会の協力により、セルフチェックによる体力測定、簡単な集団体操、認知機能維持のための運動などを行い、日常生活で取り入れられる健康づくりの方法を学びました。

参加者からは、「最近、運転が怖くて控えていたが、判断年齢や体力を知ることができてよかった」「体力維持のための体操を教えていただき、本当に役に立った」などの声が寄せられ、運転への不安が軽減されたという意見も多く聞かれました。



夏だ!祭りだ!みんなであそぼ!

第20回 江北町子どもまつりを開催しました。

7月26日(日)、江北町老人福祉センターにて「第20回江北町子どもまつり」を開催しました。当日は猛暑にもかかわらず、浴衣姿の子どもたちや家族連れなど約950名が来場し、会場は大きな賑わいに包まれました。開会にあたり、飯盛一代実行委員長より「今日は皆さんが楽しみにしていた子どもまつりです。いっぱい楽しんでください。」と挨拶があり、子どもたちの表情も一層明るくなりました。

メイン会場では、よしのがり牟田さんと藤木杏奈さんの司会により、町内の各こども園や団体、江北中学校音楽部がステージ発表を行い、子どもたちの元気いっぱいのダンスや合唱に大きな拍手が送られました。後半には佐賀バルーンズ角田選手からビデオレターが届き、「好きなことや頑張りたいことがあればチャレンジしていっぱい失敗してください。たくさん失敗することが成功する近道です。」と力強いメッセージが子どもたちに届けられました。その後ステージにはバルたんが登場し、ミニフリースロー対決やじゃんけん大会、お楽しみ抽選会で会場をさらに盛り上げました。

会場内外では、ものづくり体験や射的、わなげ、駄菓子屋さん、屋外ではホットドッグやかき氷、スーパーボールすくい、ヨーヨー釣りなど、子どもたちが楽しめる催しが多数並び、夏ならではの雰囲気を楽しめる姿が多く見られました。

また今回は、江北町のボランティア団体や関係機関に加え、白石高校の生徒ボランティア27名が運営に協力してくださいました。若い力がイベントを支え、次世代のボランティア育成や地域との交流につながる貴重な機会となりました。

猛暑の中でも多くの笑顔があふれた第20回江北町子どもまつり。地域の皆さま、関係者、ボランティアの皆さまのご協力により、子どもたちにとって思い出深い一日となりました。

飯盛一代実行委員長の挨拶



司会者のよしのがり牟田さん、藤木杏奈さん



山田恭輔社協会長の挨拶



江北中学校音楽部(合唱)



ちゅうりっぷのうた(勇気100%)



幼児教育センター(カリスマックス)



こうほく町社協だより

ひとのねこども園
(勇気100%・みぎかたあがり音頭)



えいりんじこども園
(やさい音頭・みぎかたあがり音頭)



江北ひかりこども園
(キミに100パーセント)



ゲームコーナー(射的、わなげ、ゲーム大会)



ミニフリースロー対決



屋 台



ものづくり体験コーナー



佐賀ブルーネーズのバルたんへ花束贈呈



子育て支援グループ「ちょうちょ」と共同で 夏休み子どもサロンを開催しました。

江北町社会福祉協議会では、子育て支援グループ「ちょうちょ」と共同で地域の子どもたちが夏休み期間を安全に楽しく過ごし、仲間づくりや体験学習を深めることを目的として「夏休み子どもサロン」を開催しました。

開講式では、江北町社会福祉協議会の大串事務局長より「夏休みの貴重な体験を、みんなで元気いっぱい過ごしてください。子どもサロンは4回あります。その中で新しい友達をつくったり、上級生や下級生とも仲良くなって、楽しい夏休みの思い出をたくさん作ってください。」とあたたかい挨拶がありました。

今年度は、7月23日（木）、7月30日（木）、8月6日（木）、8月20日（木）の計4回の活動を行い、工作や災害食体験、バス旅行、防災教育、人形劇観劇など充実したプログラムを実施しました。

また、7月23日（木）には、災害時にも役立つ「災害食づくり」に挑戦しました。ハイゼックスを使ってご飯を炊く体験では、子どもたちから「本当に炊けるんだ」と驚きの声上がり、さらに「小学校でもしたことあるよ!」と慣れた様子で取り組む姿も見られました。出来上がったご飯にカレーをかけ、みんなでおいしくいただきました。



7月23日(木)

開講式・班別親睦会・ものづくり(ひこうき)、災害食体験、絵手紙作成

初日は開講式の後、親睦会でお互いの自己紹介を行い、すぐに打ち解けた様子が見られました。

工作では絵手紙の色塗りに挑戦し、子どもたちは決められた絵柄に好きな色を塗りながら、完成させる楽しさを感じていました。

昼食はハイゼックスを使った災害食づくりに取り組み、非常時の食事の大切さを学びました。



7月30日(木)

お楽しみバス旅行(海きらら)

2回目は子どもたちが楽しみにしていたバス旅行で、行き先は「海きらら」。

館内の展示を見学し、海の生き物を間近で観察しました。

その後は、みんなで遊覧船の前に並んで記念写真を撮り、夏休みならではの楽しいひとときを過ごしました。



8月6日(木)

防災教育・ものづくり(ランタン作り)

日本赤十字社佐賀県支部による防災教育では、災害時の行動や備えについて学びました。

その後の工作ではランタン作りを行い、思い思いのデザインで世界に一つだけのランタンが完成しました。



8月20日(木)

人形劇観劇・お楽しみ会・閉講式

最終日は人形劇の観劇からスタート。物語の世界に引き込まれ、子どもたちは笑顔に。昼ご飯はみんなで流しそうめんをしました。お楽しみ会はゲームで盛り上がり、閉講式で今年度の子どもサロンを締めくくりました。



今年の夏休み子どもサロンは猛暑の中での開催となりましたが、子どもたちの欠席はほとんどなく、毎回ほぼ定員通りの参加があり、元気いっぱい活動する姿が見られました。工作や防災学習、バス旅行、人形劇観劇など、普段体験できない活動を通して、会場は終始笑顔であふれ、夏休みの良い思い出づくりとなりました。

閉講式では、子育て支援グループ「ちょうちょ」代表の岸川恵利子さんが「このサロンで得た体験を学校生活や普段の生活にもいかして、元気に新学期を迎えてください」と挨拶され、今年度の子どもサロンは無事終了しました。

今回の開催にあたり、子育て支援グループ「ちょうちょ」の皆さまには、準備から当日の運営まで多大なご協力をいただきました。温かい支援のおかげで、子どもたちが安心して楽しく参加できるサロンとなりました。心より感謝申し上げます。

参加者からは「また来年も参加したい」「工作が楽しかった」などの声が寄せられています。江北町社会福祉協議会では、今後も地域の子どもたちの健やかな成長を支える活動を続けてまいります。

日本赤十字社 会費のお礼

日本赤十字社江北町分区では、令和8年5月より町民の皆さまに「日赤会費」のお願いいたしました。町民の皆さまからの会費(普通会費)及び、下記の方から個人会費をお預かりしました。お預かりした会費は日本赤十字社佐賀県支部へ送金させて頂きました。ありがとうございました。

<普通会費>

1,667,400 円 (1 世帯 600 円 × 2,779 世帯)

ご寄付御礼

皆様より頂きました貴重な浄財は、社会福祉事業に幅広く使わせていただいております。
次の方々から、社会福祉事業寄付金としていただきました。ありがとうございます。

社会福祉法人 江北町社会福祉協議会 会長 山田 恭輔

香典返しご寄付

高額の寄付

〇観音下区 古賀 義行 様

二十万円（亡母 古賀重子 様の香典返し）

香典返しご寄付

町 外		町 内												
林田 正義 様	寄付者名	山口	番場	坂井	山崎	友納	洲上	大崎	小林	鶴丸	岸川	樋口	諸岡	寄付者名
		雅英 様	実 様	俊和 様	正俊 様	俊宏 様	章一 様	神子 様	秀子 様	渡 様	青春 様	郁也 様	カズ代 様	
白石町	地区名	土	新	大	八	上	八	花	平		八	土	南	地区名
		元	宿	西	町北	分	町中	祭	山	宿	町中	元	郷	
高田愛子(平山) 様	物故者名	元	田	節		藤	テ	内	孝	古	ヨ		勇	物故者名
		子	口	子	宮	瀬	ル	次	幸	賀	ネ	稔	子	
		様	昭子 様	様	様	寿偉 様	ヨ 様	様	様	勝子 様	様	様	様	

(令和8年6月1日～令和8年8月17日 受付分)

皆様からのご寄付（香典返し等）の公表について、江北町社会福祉協議会ではご寄付をいただく際に「寄付される方に、公表してよいかの意思をお伺いしております。」

令和7年度 社会福祉協議会法人会費の報告（お礼）

令和8年1月30日に、町内事業所より「令和7年度 社会福祉協議会法人会費」をお預かりしました。
お預かりした会費は、児童福祉・高齢者福祉・障がい者福祉等、様々な福祉活動に活用させていただきます。
(令和8年1月30日 受付分)

事業所名	金額（円）
株式会社 タケリョー	20,000
累計 17 社	320,000

生活に困っている方へ食料品の配布を行っています ～江北町生活応援事業～

江北町社会福祉協議会では、物価高騰等の影響などで生活に困っている町民の方へ食料品の配布を行っています。

まずは、江北町社会福祉協議会(☎86-4317)までご連絡ください。

1. 利用時間……8時30分から17時まで(平日のみ)
※土日祝日の受付・配布及び時間外の対応は致しません。
2. 受取場所……江北町老人福祉センター(江北町社会福祉協議会)
(江北町大字山口2637番地7)
3. 対 象……生活困窮している江北町の住民 (例)失業中など
※電話にて問い合わせください。
4. 申込方法……江北町社会福祉協議会までお越しください。
お越しの際に、受付票の記入をお願いします。
5. 内 容……お米、カップ麺、飲料水、お菓子、レトルト食品など



※写真は参考になります。
必ずしも写真の食品をお渡しすることはできません。